

令和3年度 箱根町町政モニター第1回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 調査テーマ

広報はこねについて

○ 調査理由

広報はこねについて、町政モニターの皆様が、現状、どのように読まれているか、記載形式や掲載内容についてどのように感じているか、その他ご意見等を把握し、今後のさらなる改善を図っていくため、アンケート調査を実施しました。

○ 回答期間

令和3年7月21日（水）から8月3日（火）まで

○ 対象者

箱根町町政モニター 63人

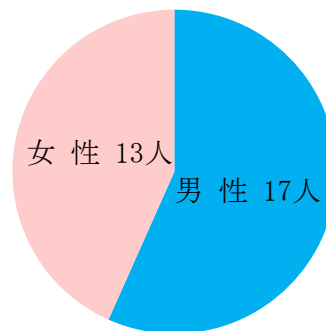
○ 回答者数（回答率）

30人（約47.6%）

○ 回答者の基本属性

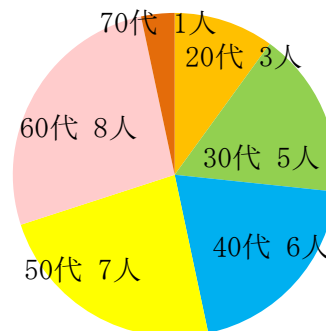
性別	回答者数	割合
男性	17	56.7%
女性	13	43.3%
合計	30	100.0%

【性別】



年齢	回答者数	割合
20代	3	10.0%
30代	5	16.7%
40代	6	20.0%
50代	7	23.3%
60代	8	26.7%
70代	1	3.3%
合計	30	100.0%

【年齢】



※ 広報はこねに係る町政モニター調査は令和元年11月にも行っており、今回が2回目の調査となります。

○ 入手方法等について（質問[1]～[3]）

入手方法について、「新聞折り込み」が33.3%となり、令和元年度調査の52.6%から、約2割減少する結果となりました。その一方で、「コンビニ・郵便局」は10.0%となり、令和元年度調査で選択者がいなかったため、入手方法が多様化したことが伺えます。

入手手段がない方への有効な方法については、ホームページでの閲覧に加え、入手場所の増加など多くの意見がありました。詳しくは、3,4ページを参照ください。

○ 記載形式・掲載内容等について（質問[4]～[8]）

写真やイラストの量について、「ちょうど良い」が81.5%となり、「少ない」が14.8%でした。令和元年度調査では、「ちょうど良い」が57.9%、「少ない」が36.8%であったため、前回のアンケートを踏まえた改善を図り、今回の結果に反映することができました。また、広報はこねを読んでいる媒体は「冊子」が70.4%、「町のホームページ」が29.6%となりました。

「町のホームページ」で読んでいる方は、どのように経由して広報はこねを閲覧しているかを調査したところ、「箱根町公式LINE」が25.0%となり、今年3月から運用を開始した公式LINEが少しずつ浸透し、活用されていることが伺えます。

○ 期待する内容・ご意見や改善点について（質問[9],[10]）

期待する内容は、「町が実施する事業の紹介」（24人）が最も多く、次いで、「地域の話題やニュース」・「イベントに関する情報提供」（22人）となりました。

ご意見や改善点については、箱根町という国際観光地の特徴を生かした広報を作成することや、多くの方に認知してもらえる広報を作成する改善点などの様々なご意見がありました。詳しくは、6ページを参照ください。

○ 総括

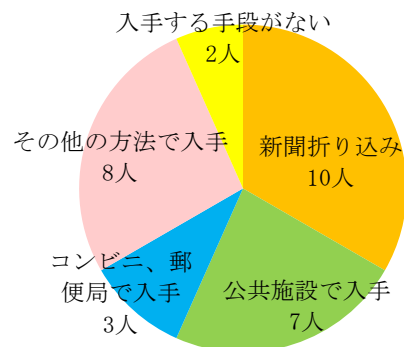
今回の調査では、広報はこねに期待する内容や、現在の広報はこねの入手方法などを把握するため、令和元年度に行った調査を参考に、アンケートを作成しました。

調査結果としては、新聞折り込みによる入手率が低下している一方、コンビニや郵便局など新たな入手方法が増えました。また、掲載内容としては、地域の情報を掲載してほしいという意見が多く挙がりました。

今回の結果を参考とし、より内容の充実した広報を作成できるよう努めていきます。

[1] 広報はこねを主にどのように入手していますか。

No.	選択項目	回答数	割合
1	新聞折り込み	10	33.3%
2	公共施設で入手	7	23.3%
3	コンビニ、郵便局で入手	3	10.0%
4	その他の方法で入手	8	26.7%
5	入手する手段がない	2	6.7%
合 計		30	100.0%



[4 「その他の方法で入手」を選択した方の意見

- ・ インターネットで閲覧 5人
- ・ 居住するマンション、文化センター、職場にて 各1人

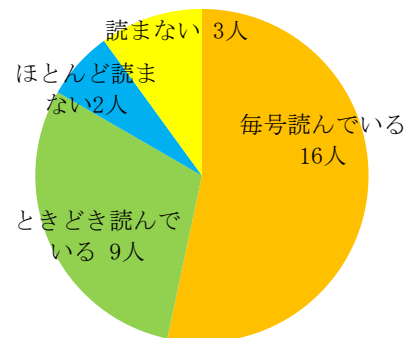
[2] 入手手段がない方が入手するにはどのような方法が有効であると思いますか。
(自由記入)

区 分	意 見
提 案	ネットにPDFで公開し、その旨を市民にメールで配信する。
	登録制でメールでも配信
	メールに添付する
	メール
	市のHP、Twitter、Facebookから公開する。
	Lineで送る。その際はpdfだと読みにくいので、スマホで読みやすいようにデータを流し込むフォーマットが必要になります。
	今回のアンケートがきっかけで広報はこねを知りました。町民以外にも広めたいのであれば、こういった冊子があることの周知や、URLの提示をしてWEBアクセスを伸ばすことが改善策の1つだと考えます。
	ホームページで閲覧できるので、月初はリンクにとびやすくするといいい
	ネットでのダウンロード可能にする駅、銀行、郵便局、本屋のラック
	コンビニ、銀行、郵便局、出張所、バスの中、自治会の回覧板で希望者を募り希望者分を回覧板につける
	公共施設や各駅構内、またはスペースがあればコンビニエンスストアの、小冊子コーナーなど。
	商業施設に置くと、ロスも多いと思うので、お年の方の利用が多い、病院に置いていただくのは、いかがでしょうか？
	職場や学校などに配布する。
	スーパーやドラッグストアに配架
	置き場所を増やして欲しい。
	年間いくらかで郵送。
希望者メール便、回覧板に何冊か入れる。	
回覧板、スーパーなどでの配布	
回覧板方式	

区 分	意 見
提 案	入手手段がない場合は郵送(ポスト投函)がいいのかと思いますが、コストが掛かるので外出が困難なお年寄りや障害者に限定してもいいのでは。若い世代は新聞購読すらしてない人もいますので、ネット配信でいいと思います。ゴミの削減にもなりますし、『広報はこね』の最後のページに載ってますが世帯数が6000あまりなので、各世帯のメールアドレスの登録など今から整備し始めるのも良いかと。災害時の一斉安否確認を行うにも利用出来ると思います。
	エールクーポンに同封されていた案内を見て、LINE登録して発行の連絡が来るようになり読み始めました。新聞購読もしておらず、コンビニに行っても見かけたこともなく「広報はこね」の存在自体知らなかったです。ここでは入手手段についてですが、そもそも周知の仕方もいま一度考えてみるのもよいのではないのでしょうか。

[3] 広報はこねをどのくらいの頻度で読んでいますか。

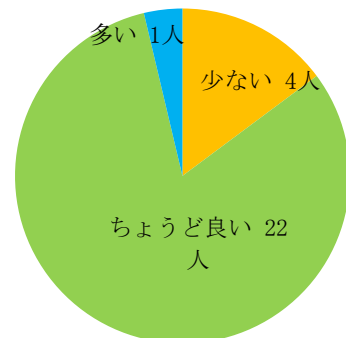
No.	選択項目	回答数	割合
1	毎号読んでいる	16	53.3%
2	ときどき読んでいる	9	30.0%
3	ほとんど読まない	2	6.7%
4	読まない	3	10.0%
合 計		30	100.0%



質問[4]・[5]・[6]は、質問[3]で「1 毎号読んでいる」「2 ときどき読んでいる」「3 ほとんど読まない」を選択した方にを聴きします。

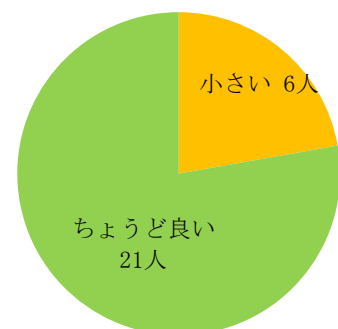
[4] 写真やイラストの量について、どう思いますか。

No.	選択項目	回答数	割合
1	少ない	4	14.8%
2	ちょうど良い	22	81.5%
3	多い	1	3.7%
合 計		27	100.0%



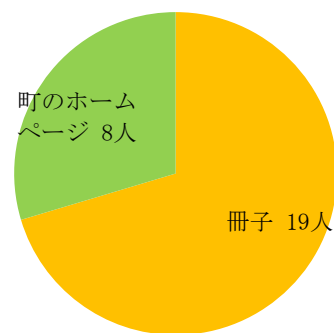
[5] 文字の大きさについて、どう思いますか。

No.	選択項目	回答数	割合
1	小さい	6	22.2%
2	ちょうど良い	21	77.8%
3	大きい	0	0.0%
合 計		27	100.0%



[6] 広報はこねをどの媒体で読んでいますか。

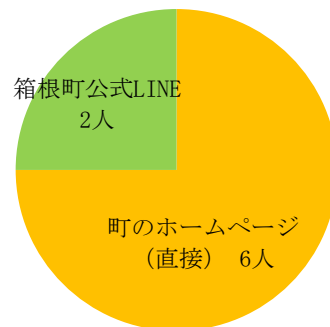
No.	選択項目	回答数	割合
1	冊子	19	70.4%
2	町のホームページ	8	29.6%
合 計		27	100.0%



質問 [7] は、質問 [6] で「2 町のホームページ」を選択した方にお聴きします。

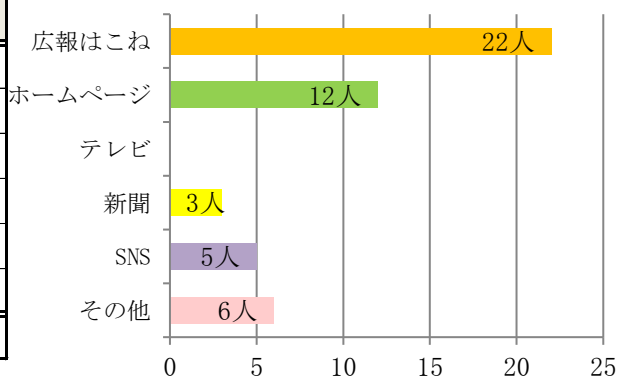
[7] 広報はこねのページにはどのように経由していますか。

No.	選択項目	回答数	割合
1	町のホームページ (直接)	6	75.0%
2	箱根町公式LINE	2	25.0%
合 計		8	100.0%



[8] 町の行事などについてどのような方法で情報を得ていますか。(複数回答可)

No.	選択項目	回答数
1	広報はこね	22
2	ホームページ	12
3	テレビ	0
4	新聞	3
5	SNS	5
6	その他	6
合 計		48



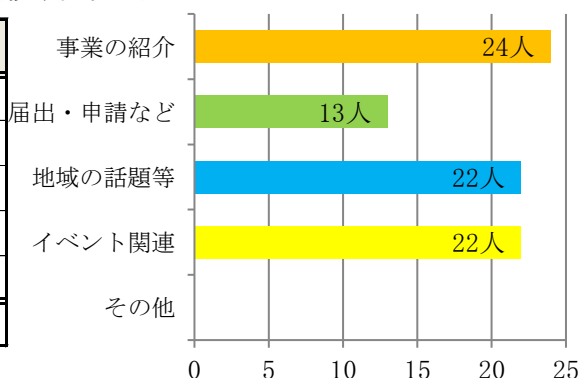
※回答者数：30人

「6 その他の方法で入手」を選択した方の意見

- ・ 回覧板 2人
- ・ 特にない 2人
- ・ 職場、自治会に入会している友人 各1人

[9] 広報はこねに期待する内容は何か。(複数回答可)

No.	選択項目	回答数
1	町が実施する事業の紹介	24
2	届出・申請などのお知らせ	13
3	地域の話題やニュース	22
4	イベントに関する情報提供	22
5	その他	0
合 計		81



※回答者数：30人

[10] 広報はこねに関するご意見や改善点などがあれば、教えてください。（自由記入）

分類	意見
提 案	[岡田美術館が、箱根町民には毎年8月には入場料1000円で鑑賞できる]などの情報が、公報箱根には掲載されていません。他にも、掲載されていない有益情報があるのではないかと危惧します。民間施設のお得な情報も掲載してほしいと思います。
	入手できる環境を整えて欲しい。町民割引や地域の情報を載せてほしい。箱根在住者に便利な情報を充実させて欲しい。バスの回数券を購入できる場所や時間などを特集して欲しい。
	コロナの終了後新しい世代が各地域で新しい形の事（仕事・生活・情報）また、各地域に残された「江戸時代の箱根」を詳しく紹介をしていく。（日本語・英語のみ） ※双方の言語が我々に近いので観光地として漠然と構えるのではなく古いもののけいしょうを必ず紹介をすべきであると考えます。
	町内のおすすめスポットやトライして頑張っていることを町民の人に、スペースをあげて提供してもらおう。または、町内自慢などを、扱って人の顔が、見える部分を扱う
	町内で事業しているお店の紹介
	回覧板で回してもらえると毎号チェックできると思います。
改善点	少し紙面が、ごちゃごちゃしているように感じるので、例えば、各課ごとにするとか、お知らせや案内は後ろのページにするとか、町民に最後まで読んでもらえる紙面づくりや他の市町村の広報を参考にするのもよいと思う
	最近では毎号似たような内容だと思う。税金、マイナンバー窓口など、回覧「まちだより」との差別化をもっとしてほしい。
	内容にこだわる広報であるからこそ、多くの世代に読んでほしいものだと思います。世代ごとに、活用する媒体を変えることで対応できると思います。
感 想	今回のようにモニターアンケートに参加することで特典が貰えると、自分のような以前は箱根町と接触する機会がなかった人達が何かしらの取り組みに参画するきっかけになるので良い企画だと思いました。
	最終ページの「はこねのアイドル」をいつも楽しみにしています。うちが掲載されたときは図書カード？はいただけてないのですが、他の方も同様でしょうか。過去に掲載された子でも応募できるようにしてくれれば、また応募したいです！
	最近、「広報はこね」「まちだより」をネットで読むようになりましたが、内容も充実しており、とても時間を費やし作成されているのではないかと感じています。箱根についての情報が入ってくるようになりましたので大いに活用しています。改善点はないですが、逆に少し手抜きしてもいいのではないかと感じています。コロナ禍で行政の残業が増えていると聞きます。平時でさえ、残業が多いイメージがありますので、効率化という名のもと、作成手順や内容の見直し、ページ数削減など気づかれない程度でもいいのでは。
	なかなか情報を得る物が少ないので、広報はこねはかなり重要な役割を担っていると思います。その為、生活情報やイベント情報、災害時の発生状況や復旧情報、道路工事情報なんかもあればより利便性が向上すると思います。ネット上でも情報は得られますが、信憑性はマチマチです。でも広報誌なら正確な情報と信頼出来ますので。
	見やすく無駄がなくかつ充実しているためとても良い広報紙だと思っています。
	このままでよいと思います。 頑張ってください